

2025年度建築コスト管理士試験（短文記述）問題

問題1

建築コスト管理士がその業務を遂行し、専門家としての責任を果たし、社会的地位を確立し維持するためには、知識や技術だけではなく高い倫理性が求められる。そのため公益社団法人日本建築積算協会は、建築コスト管理士が遵守する倫理を「建築コスト管理士倫理要綱」に規定しており、その1つは下記の内容となっている。

（法令などの遵守）法令などを遵守するとともに、建築コスト管理士認定事業にかかる認定規程、実施要領等を守る。

「建築コスト管理士倫理要綱」が規定する倫理の中から上記以外の4つを選び、150字から200字以内で記述せよ。（150文字以上必須）

【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック P.17 22～37 行目

【解答例】

※ガイドブックに記載の内容・表現を適切に捉えているかを確認する。

（解答例）

下記の6つの中から4つを選び記述する。

（専門技術の保持）常に幅広い知識と技術を維持し、依頼者のよきパートナーとして、業務にあたる。（文字）46文字

（公正、中立性の保持）建築のライフサイクル全般において、重要なコストを取り扱う専門技術者の特殊性に鑑み、業務を行うに当たっては公正、中立性を保持する。（文字）75文字

（秘密の保持）職務上知り得た秘密を正当な理由なく他に漏らしてはならない。（文字）36文字

（公正な競争）自己のサービスの真価によって専門職としての名声を築き、客観的な根拠のない事実に基づき他の専門技術者に対し中傷や誹謗など業務の妨げをしない。（文字）76文字

（自己の啓発）技術専門職の名誉、誠実及び尊厳を高く掲げ、かつ増進するように努める。（文字）41文字

（専門技術者の協力）他の専門技術者と協力して業務を行うときは、お互いの業務の分担と責任を明確に合意したうえで、相互に信頼をもって業務を遂行する。（文字）72文字

2025年度建築コスト管理士試験（短文記述）問題

問題2

国の制定している「公共工事標準請負契約約款」では、設計図書を構成する複数の書類を規定しており、その1つは下記の内容となっている。

（設計図）入札に際して建築工事目的物の形状、内容、性能並びに品質などを規定した図面をいい、発注者から変更または追加された設計図および設計図のもととなる計算書等を含む。

「公共工事標準請負契約約款」が規定する設計図書の中から2つを選び、150字から200字以内で記述せよ。（150文字以上必須）

【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック
P.184 12～25行目

【解答例】

※ガイドブックに記載の内容・表現を適切に捉えているかを確認する。

（解答例）

下記の4つの中から2つを選び記述する。

（現場説明書）工事の見積参加者に対して、当該工事の見積りをするための契約条件を発注者が現地で説明するための書類をいう。一般的には見積要項書とも呼ばれている。

（文字）78文字

（質問回答書）現場説明書および現場説明に関する工事の見積参加者からの質問に対して発注者および設計事務所などの代行者が回答する書類。広義には設計図などに関する質問回答も含まれるが、これは本来契約時点では設計図に織り込まれるべきものである。

（文字）118文字

（特記仕様書）当該工事に関連する材料などの性能および品質、並びに施工方法などを工事ごとに特記事項として表現したものをいい、標準仕様書を補足し、工事の施工に関する明細又は工事に固有の技術的要求を定める図書をいう。現在は設計図の冒頭に記載されることが一般的である。（文字）130文字

（標準仕様書）建築工事に関わる工事管理・品質管理に関する事項、使用する材料などの性能および品質、並びに施工方法などを規定している文書をいう。（文字）70文字

2025年度建築コスト管理士試験（短文記述）問題

問題3

PFIの概要について、150字から200字以内で記述せよ。（150文字以上必須）

【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック
P.392 42～P.394 42 行目

【解答例】

※ガイドブックに記載の内容・表現を適切に捉えているかを確認する。

（解答例）

PFIとは、公共施設の整備や運営において、民間の資金・経営・技術力を活用し、同一水準のサービスをより安く、または同一価格でより良質に提供する仕組みである（PFI法1999年制定）。1992年に英国で財政支出抑制策として始まり、日本では第三セクターの失敗を教訓に導入された。官民連携（PPP）の一形態とされるが、民営化とは異なり公共部門が一定の関与を維持する特徴を持ち、公共性と効率性の両立が図られる。

（文字）188文字

2025年度建築コスト管理士試験（短文記述）問題

問題4

地下躯体の構築には順打工法と逆打工法があるが、逆打工法の特徴について、長所・短所をそれぞれ2つずつあげ、具体的に150字から200字以内で記述せよ。（150文字以上必須）

【出典】 新☆建築コスト管理士ガイドブック
P.259 13～33 行目

【解答例】

※ガイドブックに記載の内容・表現を適切に捉えているかを確認する。

（解答例）

長所としては、1階スラブ（トップスラブ）を先行構築するため、地下・地上の並行作業が可能となり、工期短縮が図れる。また、剛性の大きい地下躯体を切梁支保工として用いるため、山留壁の変形が小さく、敷地周辺への影響も少ないので、地下施工の安全性が高い。短所としては、地下工事がトップスラブ下の作業となるので、施工性が悪く重機の効率も低下する。また、地下工事と地上工事が輻輳するため、工事動線計画が重要となる。

（文字）200文字

2025年度建築コスト管理士試験（短文記述）問題

問題5 工事費における共通費は、種目として、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等に分類される。各種目に含まれる具体的な項目を例に挙げ、それぞれの内容を150字から200字以内で記述せよ。（150文字以上必須）

【出典】 新☆建築積算士ガイドブック
P.45 26、27、30 行目
P.46 20、21 行目
P.47 38、39 行目

【解答例】

※ガイドブックに記載の内容・表現を適切に捉えているかを確認する。

（解答例）

共通仮設費とは、現場事務所や仮囲いといった仮設建物費や工事施設費等、複数の工事種目に共通して使用される仮設工事のことをいう。現場管理費とは、現場従業員の給料手当や労務管理費、その他、工事現場における運営や施工管理に必要な、共通仮設費以外の費用をいう。一般管理費等は、調査研究費、広告宣伝費、本店及び支店の従業員の給料手当など、企業の管理運営に必要な経費のうち、現場管理費を除いた費用であり、一般管理費と付加価値で構成されている。

（文字）214文字